

令和5年度 農山漁村振興交付金【（農山漁村発イノベーション対策）のうち農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型）】
【（農山漁村発イノベーション対策）のうち農山漁村発イノベーション整備事業（農福連携型）】

事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された「農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型）及び（農山漁村発イノベーション対策）のうち農山漁村発イノベーション整備事業（農福連携型）」の事業について、「農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）実施要領（令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知）別記5の第9の3の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した北陸管内の7地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が5地区、良好と認められる地区が1地区、総合的に低調と認められる地区が1地区との評価結果となった。

3. 各地区の評価結果

7件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
北陸	富山県	富山市	社会福祉法人 フォーレスト八尾会			● ★	●	■ ◆				A	ビニールハウスを設置したことにより通年出荷が可能となったことから障害者等の通年の作業を確保する環境が整えられ、障害者等の就労人数が目標を上回り、作業の細分化により多くの障害者等の就労支援につながった。また、栽培技術の向上により、高品質の商品を安定出荷できたことで売上も目標を上回り、工賃向上につながった。 さらに、地域でのイベント等に積極的に参加することで交流人口も目標を上回っていることから優良な評価とする。
北陸	石川県	金沢市	農事組合法人One			● ★	●	■ ◆				B	夏に気温の高い日が続いたため、イチジクの収量が振るわず売上が目標に達しなかった。また、販売イベント等を企画したが開催はできなかった。 しかし、障害者が、安全に作業を行えるよう作業手順書を作成し、その修正を繰り返し行うことで、障害者がスムーズに作業を行える環境を整えるとともに、事務所スタッフの意識にも変化があり、改善事例が現場で生まれ、農福連携の取組の活性化につながっており良好な評価とする。
北陸	石川県	内灘町	株式会社笠間農園			● ★	●	■ ◆				A	過年度に整備した、冷蔵庫、休憩所及び洋式トイレ付きの作業場を活かし、障害者や高齢者が安心安全に働ける環境が整い、多くの就労継続支援事業所と連携して施設外就労を受入れ、就労の目標を達成している。昨年の洪水影響もあり売上は目標に達しなかったものの、作成した作業マニュアル等で効率化を図ったことで、新たな作物の栽培に着手し、農福連携による農業経営の強化を図っており、今後に期待できる。また、特別支援学校等の農業体験の受入れ、交流人口は目標を上回っており、農福連携の発展へ繋げる取組を行う。このことから優良な評価とする。
北陸	新潟県	長岡市	認定・特定非営利活動法人 UNE				● ★	●	□ ◇			A	山野に自生するクロモジ等を採取し、薬用酒メーカーに納入することで売上が目標値を上回り、高齢者、障害者、生活困窮者の雇用、就労の目標を達成している。また、新たな取組みとして、ひきこもり支援や体験型福祉農園を開設し、多様な人たちの交流を図っており、今後の取組に期待できるため優良な評価とする。
北陸	富山県	富山市	社会福祉法人秀愛会				● ★ ▼	● ▲	□ ◇			A	障害者等の雇用について、目標を達成し、作成したマニュアルを障害者の特性に合わせ見直し、個別に支援を行うことで製造の技術力が向上し、障害者のやりがい醸成に繋げている。また、販路開拓により取引先が増えたことで売上額が目標を上回り、地域のイベントに積極的に参加することで、交流人口の目標も上回った。このため、優良な評価とする。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
北陸	富山県	上市町	いっぽいっぽ株式会社					● ★ ▼	○ △	□ ◇		C	主要な取り組みである水耕栽培設備の設計のやり直しや能登半島地震の影響等で年度内に完成できなかった。このため、水耕栽培に関連した障害者等の雇用・就労人数、売上げ、交流人数が目標を下回ることとなり低調と評価とする。
北陸	福井県	あわら市	株式会社農楽里					● ★	○	□ ◇		A	精米設備を導入し、精米に関する一連の作業を行うことで、障害者の作業領域が拡大し、障害者に自信が付き一般就労へ繋げる取組となっている。業務実績について、売上は設備の導入時期の遅れなどがあり、目標を若干下回ってはいるものの、障害者等の雇用者数、交流人口が目標を上回り、販売先も増えているので来年度以降に期待ができるため優良な評価とする。

（注１）「事業実施段階」の凡例： ソフト事業 ○・・・交付対象年度（計画） ●・・・交付対象年度（実施済） □・・・目標年度（計画） ■・・・目標年度（実施済）
ハード事業 ☆・・・交付対象年度（計画） ★・・・交付対象年度（実施済） ◇・・・目標年度（計画） ◆・・・目標年度（実施済）
重点指導 ▼・・・重点指導（通知） △・・・重点指導（結果報告予定） ▲・・・重点指導（結果報告済）

（注２）「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調 評価対象外・・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

「農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）実施要領（令和４年４月１日付け３農振第2921号農林水産省農村振興局長通知）別記５の第９の３の規定に基づき、第三者機関である「北陸農政局農山漁村振興交付金（都市農村交流等）評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

- 委員長：桑原 美香（公立大学法人福井県立大学経済学部経済学科教授）
委員：大西 等（株式会社農協観光北陸エリアセンターセンター長）
委員：松本 正（株式会社北日本新聞社編集局デジタル編集本部専門委員）

【令和6年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会	
1 日 時	令和6年8月28日（水）9：30～12：00
2 場 所	金沢広坂合同庁舎 7階第1会議室（オンライン形式による開催）
3 議事概要	① 令和5年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和5年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和5年度に事業を実施した7地区の取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明し、質疑応答を行った。 また、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。 ③ 令和5年度評価対象地区の評価案等について 令和5年度に事業を実施した7地区の評価案等に関して、了承を得た。 また、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して了承を得た。 ④ 主な意見 ○ 評価に災害被害の要因があるものについて「低調」となるのか疑問を持った。